

子育ての悩みに寄り添う絵本
子育てと絵本 vol.4

きょうだいの関係

きょうだいに関するたくさんの絵本。「赤ちゃんが生まれてお母さんは赤ちゃんばかり抱っこ。赤ちゃんなんか生まれなきゃよかった」「お兄ちゃんなんだからお姉ちゃんなんだからっていつも言われる。好きでなかったんじゃない。怒られるのは自分ばかり」「お兄ちゃんに聞きなさい、お姉ちゃんに見てもらいなさいって、もっと自分だけでやりたい!」「おもちゃも服もくつもおさがり、すごくソソ!」など実際の言葉から生まれています。いろんな思い、葛藤がきょうだいの気持ち。「助け合って仲良く育ててほしいのにいつもけんか、私もついガミガミイライラ」と親。それでもきょうだいってやっぱり気になる大事な存在ですね。

いろいろな場所で子どもたちやきょうだいの様子を見る機会があります。3歳の子でも0歳や1歳の弟妹に気をつかったり見守ったり。その一途な姿に愛おしさを覚えます。

「フランスのいえで」は下の子が生まれた時のフランスのさまざまな感情が表されています。自分の存在を知らずためにわざと歌をうたったり、親に心配してほしいという気持ちからちょっと隠れたり。自分の声を聞いてくれる人、自分をみてくれる人の存在を実感することが子どもの安定、安心

感に繋がるがよく分かります。「ピーターのいす」も妹が生まれてからのピーターの心の動きが繊細に表現されています。親から認められることでピーターは成長していきます。親の豊かな愛情が染みわたる2冊です。

「下の子が生まれたら上の子に心配りしないといけないって分かってるけど、現実の大変さでなかなかできない」そんな葛藤を皆さん少なからず抱えています。親子と一緒に、またはおじいちゃんおばあちゃんから絵本を読んでもらいませんか。皆がほっこり、至福のひとつになります。

今回ご紹介する絵本



フランスのいえで
作 ラッセル・ホーバン
絵 リリアン・ホーバン
訳 松岡 享子
好学社



ピーターのいす
作 エズラ・ジャック・キーツ
訳 木島 始
偕成社

子育てひろっぱ「めぐみ」代表 弘田 恵子

大阪府立母子保健総合医療センターNICUや母乳育児相談室で勤務。その後20年間高知市内のめぐみ保育園で園長を務める。助産師、看護師、保育士、幼稚園教諭(二種)。絵本専門士(国立青少年教育振興機構認定)。上級睡眠健康指導士。アンガーマネジメントファシリテーター

